

JHL NEWS

No.19

2014年1月27日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

北國、広島もプレーオフへ

～第38回 日本ハンドボールリーグ・第18週～

第38回日本ハンドボールリーグ第18週は1月25、26日に愛知などで女子6試合が行われ、2勝した北國銀行と1勝1分の広島メイプルレッズが、オムロンに続いてプレーオフ切符を獲得した。

25日愛知での北國-HC名古屋は、八十島のサイドシュートで先制点を奪った北國が、田邊のサイドシュートなどで開始5分4-0とリード。たまらずタイムアウトを取った名古屋は、金塚がサイドシュート、速攻で得点するものの、北國の堅いディフェンスを崩すことができず、18-4と北國リードで前半終了。後半も北國ベースは変わらず、福井、細田のロングシュートで反撃する名古屋に対し、速いパス回しからのカットインやポストプレーで次々と得点を重ねた北國が36-10の大差で白星をものにした。

25日岐阜での飛騨高山ブラックブルズ岐阜-広島は、広島が5:1ディフェンスで飛騨高山・柴田にプレッシャーをかけるとともに、守ってからの速攻で6分5-2と先行。さらに宋海林のカットインを中心に大前、高山の得点などでリードを広げた。その後、飛騨高山も池之端のカットインからオフェンスのリズムを取り戻すと、金恩恵のステップシュートなどで6点差まで追い上げるも、広島は高橋らの活躍で再加速し、19-8で前半を終えた。広島は後半も宋海林のスカイプレー、大前、高山のポストプレーなど多彩なオフェンスで飛騨高山を圧倒、34-16と危なげなく勝利をものにした。

26日愛知でのソニーセミコンダクター広島は、高めのディフェンスからの速攻やポストプレーなどで加点したソニーに対し、広島も宋海林の個人技などで加点。一進一退の攻防が続いた前半はソニーが14-11とリードして折り返した。後半も1点を争う展開となり、19分過ぎに広島がサイドシュートやポストシュートを確実に決めて20-19と逆転に成功、その後もめまぐるしく主導権が入れ替わり、勝負の行方は最後までもつれた。残り1分を切り、1点ビハインドの広島がセットオフェンスで時間を使い、レフェリーからパッシブプレーを予告されるが、ポストまでボールをつないで7mスローを獲得。それを宋海林がきっちり決め、24-24の同点で幕を閉じた。この試合でソニー・高橋が通算300得点を達成した。

26日三重での三重バイオレットアイリス-北國は、両GKの好守もあってロースコアの滑り出しとなり、三重が10分2-1、20分5-5と北國と互角の戦いを演じた。しかし、ここから河田の7mスローと切れのあるミドルシュートで連取した北國がゲームの主導権を握り、前半終了間際には鮮やかなスカイプレーを決め、11-7と4点リードでUターン。後半に入り、なんとか反撃したい三重だが、逆に北國は立ち上がりから八十島の速攻や塩田のカットインシュートでいきなり4点を連取して一気にリードを広げ、その後も着実に加点、終わってみれば27-14と大差をつけて10勝目をあげた。

次週は宮城などで男子2試合、女子3試合が行われる。男子は下位に甘んじる4チームだが1つでも順位を上げたいところ。女子は上位3チームが順当に勝点を伸ばすか、それともソニーらが意地を示すか。

第19週の日程

2月1日(土)	宮城	フラップ大郷21(JR東北本線松島駅から車15分)	13:00~	(男)	トヨタ自動車東日本 × 豊田合成
	三重	四日市中央緑地体育館(近鉄線四日市駅からバス「中央緑地公園前」下車)	14:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × 広島メイプルレッズ
	佐賀	神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)	14:00~	(男)	トヨタ紡織九州 × 北陸電力
	鹿児島	霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩15分)	14:00~	(女)	ソニーセミコンダクター × オムロン
2月2日(日)	石川	金沢市総合体育館(JR北陸本線金沢駅からバス25分)	13:00~	(女)	北國銀行 × 飛騨高山ブラックブルズ岐阜



オムロンに次いでプレーオフ出場を決めた
②北國銀行・塩田③広島メイプルレッズ・大前



ソニーセミコンダクタ・儀間

ソニーがプレーオフに大きく前進

4位争いするソニーセミコンダクタと三重バイオレットアイリスが25日岐阜で顔を合わせた。藤井、石井らで先行するソニーに対し、三重も山根、毛利の両GKが連続して7mスローを阻むなどで応戦。一進一退が続いた前半は9-7とソニーリードで終了した。後半に入り、15分過ぎから三重のミスに乘じたソニーが19分19-14とリード。その後、三重は原、早船の活躍で27分19-20と詰め寄ったが、ソニー・田中が10点目となるゴールを決めて接戦を制した。

26日愛知での名古屋・オムロンは、日本代表をバックプレーヤーに揃えるオムロンが次々と点したのに対し、攻め手の見つからない名古屋も7mスロー、ポストシュートで得点するも前半は2点のみ。16-2で前半を折り返したオムロンは、後半も多彩な攻撃で名古屋を圧倒、10分24-3として早々と勝負を決めた。この試合でオムロン・石立が通算200得点を達成した。

第5回チャレンジ・ディビジョン

〈B ブロック〉

1月25日兵庫・神戸国際大学体育館

H C 和歌山 35 (17-10) 21 HC・MKA奈良
18-11

HONDA 32 (13-9) 22 TOYAMA選抜
19-13

1月26日兵庫・神戸国際大学体育館

OSAKA 35 (22-14) 27 TOYAMA選抜
SELECTION 13-13

八光自動車工業 33 (16-13) 27 HC・MKA奈良
17-14

選手登録情報

〈トヨタ自動車東日本〉

No.4 山田 隼也 1991.06.06 180cm 76kg 左 神森中→興南高→早稲田大

〈北陸電力〉

No.23 成田 有智 1989.12.08 173cm 72kg 右 御幸山中→北陸高→中京大

◆ 1月25日(土) 女子 岐阜・飛騨高山ビッグアリーナ		◆ 1月25日(土) 女子 岐阜・飛騨高山ビッグアリーナ		◆ 1月25日(土) 女子 愛知・プラザ一本体育館	
ソニーセミ コンダクタ 21 (9-7) 19 7勝1分5敗	三重バイオレット アイリス 5勝0分8敗	広島メイプ ルレッズ 34 (19-8) 16 10勝0分2敗	飛騨高山ブラック ブルズ岐阜 2勝0分11敗	北國銀行 36 (18-4) 10 9勝1分3敗	H C 名古屋 0勝0分13敗
K 藤 田 0/ 0 山 野 1/ 1 高 橋 0/ 1 7 儀 間 <0/2> K 飛 田 1/ 3 石 井 1/ 1 鎌 倉 2/ 5 3/ 8 藤 井 0/ 0 カルリン	山 根 <2/3> 阪 本 2/ 3 竹 内 1/ 3 大 山 0/ 0 阿久田 1/ 2 石 坂 1/ 2 古 川 0/ 1 川 崎 0/ 0 富 田 毛 利 K <2/4> 黒 川 0/ 0 石 漆 煙 1/ 3 小 稲 1/ 1 万 谷 0/ 3 原 4/11 2/2 池 原 3/ 7 早 船 3/10	K 増 田 <2/3> 高 橋 5/ 7 大 前 2/ 3 木 村 1/ 4 宋 海 林 4/ 7 3/4 塩 見 0/ 0 山 口 0/ 0 石 田 2/ 4 林 K <1/2> 安 齋 0/ 0 高 山 4/ 5 口 K <1/2> 加 須 屋 0/ 0 加 藤 0/ 0	菊 池 K <1/1> 高 橋 0/ 0 2/2 河 田 3/ 4 大 前 0/ 1 木 村 3/ 6 宋 海 林 9/11 塩 見 0/ 0 山 口 5/ 8 石 田 0/ 0 林 K <1/1> 安 齋 2/ 5 高 山 5/ 6 口 K <1/1> 加 須 屋 1/ 2 加 藤 1/ 1	<0/1> K 寺 田 若 泉 0/ 0 池 之 端 7/11 大 前 7/11 木 村 0/ 0 宋 海 林 0/ 0 塩 見 0/ 0 山 口 3/ 5 石 田 0/ 0 林 K <1/1> 安 齋 0/ 0 高 山 0/ 0 口 K <1/1> 加 須 屋 1/ 1 加 藤 1/ 1	近 藤 K <0/2> 若 泉 0/ 0 鰐 場 1/ 2 塩 田 2/10 1/1 高 橋 0/ 5 田 遷 0/ 8 永 田 1/ 6 細 田 0/ 0 横 島 か 竹 0/ 0 翁 長 藤 0/ 0 横 島 彩 上 野 2/ 2 河 田 潤 澤 K <1/2> 本 山 0/ 0 八十島 戸 塚 紹 0/ 0 小 松 戸 塚 早 1/ 3 塚 金 2/ 3 谷 水 0/ 0
3/7 18/41 7(FPP) 11 17/46 2/2	0/1 34/49 6(FPP) 7 14/29 2/2	0/1 34/49 6(FPP) 7 14/29 2/2	4/5 32/47 1(FPP) 7 9/39 1/1		
0.000 0/ 0 藤 田 0.541 20/37 飛 田	0.500 6/12 林 0.273 3/11 田 口	菊 池 9/43 0.209 小 田 0/ 0 0.000 立 野 0/ 0 0.000	0.619 13/21 寺 田 0.857 6/ 7 橋 本	近 藤 0/ 0 0.000 灌 澤 11/33 0.333 戸 塚 紹 0/ 10 0.000	
0.541 20/37 (GK) 審判(桶家・魚川)	19/37 0.514 観客 450人	0.391 9/23 (GK) 審判(貝沼・須原)	9/43 0.209 観客 710人	0.679 19/28 (GK) 審判(寺内・細川)	11/43 0.256 観客 450人
◆ 1月26日(日) 女子 愛知・プラザ一本体育館		◆ 1月26日(日) 女子 愛知・プラザ一本体育館		◆ 1月26日(日) 女子 三重・鈴鹿市立体育館	
ソニーセミ コンダクタ 24 (14-11) 24 7勝2分5敗	広島メイプ ルレッズ 24 10勝1分2敗	オムロン 35 (16-2) 7 11勝2分1敗	H C 名古屋 0勝0分14敗	北國銀行 27 (11-7) 14 10勝1分3敗	三重バイオレット アイリス 5勝0分9敗
<0/1> K 藤 田 0/ 0 山 野 2/ 4 高 橋 3/ 4 田 中 0/ 5 儀 間 0/ 0 古 川 0/ 0 川 崎 0/ 0 富 田 <1/3> K 飛 井 3/ 6 石 井 0/ 0 鎌 倉 8/11 錦 織 1/2 7/12 藤 井 0/ 0 カルリン	増 田 3/ 8 高 橋 5/ 7 大 前 2/ 3 木 村 1/ 4 宋 海 林 4/ 7 3/4 塩 見 0/ 0 山 口 0/ 0 石 田 2/ 4 林 K <1/2> 安 齋 0/ 0 高 山 4/ 5 口 K <1/2> 加 須 屋 0/ 0 加 藤 0/ 0	<1/2> K 藤 井 0/ 1 増 田 1/ 1 吉 田 5/ 6 稲 葉 2/ 3 藤 井 7/ 8 石 立 1/ 3 相 澤 2/ 3 永 田 上 野 0/ 0 1/ 1 勝 連 1/ 1 川 俣 0/ 1 松 本 4/ 6 東 濱 1/ 1 松 尾 2/ 3 小 館	寺 田 1/ 3 若 泉 0/ 0 伊 藤 結 1/13 2/2 高 橋 0/ 3 丸 山 0/ 3 1/1 石 田 0/ 4 0/1 細 田 0/ 0 永 田 0/ 0 藤 田 0/ 0 野 田 0/ 0 勝 連 0/ 0 川 俣 0/ 0 松 本 0/ 0 浜 田 0/ 0 松 尾 0/ 2 小 館 0/ 0	K 寺 田 若 泉 0/ 0 鰐 場 4/12 2/2 塩 田 5/ 7 1/4 高 橋 0/ 0 丸 山 0/ 0 石 田 0/ 0 飯 田 0/ 0 横 島 3/ 3 2/2 翁 長 2/ 5 1/4 横 島 彩 4/ 7 2/2 漆 黒 5/ 8 1/4 漆 黒 2/ 4 1/5 万 谷 0/ 0 3/17 原 3/ 5 1/46	近 藤 K <0/1> 若 泉 0/ 1 鰐 場 1/ 2 塩 田 0/ 0 高 橋 1/ 3 丸 山 1/ 4 石 田 0/ 2 飯 田 0/ 0 横 島 0/ 0 翁 長 0/ 1 横 島 彩 0/ 0 漆 黒 0/ 0 漆 黒 0/ 1 万 谷 3/ 17 原 3/ 5 原 4/ 16
1/2 23/42 13(FPP) 7 21/38 3/4	4/4 31/43 4(FPP) 0 4/30 3/4	4/4 31/43 4(FPP) 0 4/30 3/4	2/2 25/46 2(FPP) 2 14/57 0/0		
0.000 0/ 0 藤 田 0.447 17/38 飛 田	林 0/ 0 0.000 田 口 19/42 0.452	0.905 19/21 藤 井 0.667 4/ 6 山 中	近 藤 1/ 2 0.500 瀧 泽 0/ 2 0.000 戸 塚 紹 10/38 0.263	0.647 22/34 寺 田 0.500 2/ 4 橋 本	山 根 4/11 0.364 毛 利 10/28 0.357
0.447 17/38 (GK) 審判(太田・島尻)	19/42 0.452 観客 400人	0.852 23/27 (GK) 審判(亀井・堀川)	11/42 0.262 観客 612人	0.632 24/38 (GK) 審判(寺内・細川)	14/39 0.359 観客 848人

男女個人ランキング 第18週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1 藤井 紫緒	(オムロン)	99点	(13試合)
2 信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2 宋 海林	(マイフルレッズ)	96点	(13試合)
3 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	72点	(11試合)	3 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	93点	(14試合)
4 赤塚 孝治	(北陸電力)	72点	(11試合)	4 原 希美	(バイオレットアイリス)	86点	(14試合)
5 高景 淳	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	5 河田 知美	(北國銀行)	78点	(14試合)
6 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	6 高山 智恵	(マイフルレッズ)	71点	(13試合)
7 豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7 田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	68点	(14試合)
8 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8 増田 寛那	(マイフルレッズ)	64点	(13試合)
9 橋口 睦	(湧永製薬)	55点	(13試合)	9 福井 美樹	(H C 名古屋)	58点	(14試合)
10 今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	10 横嶋 かおる	(北國銀行)	51点	(14試合)
				10 横嶋 彩	(北國銀行)	51点	(14試合)

フィールド得点

1 成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1 宋 海林	(マイフルレッズ)	82点	(13試合)
2 信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2 藤井 紫緒	(オムロン)	74点	(13試合)
3 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点	(11試合)	3 高山 智恵	(マイフルレッズ)	71点	(13試合)
4 高景 淳	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	4 田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	68点	(14試合)
5 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	5 原 希美	(バイオレットアイリス)	67点	(14試合)
6 赤塚 孝治	(北陸電力)	58点	(11試合)	6 福井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	64点	(14試合)
7 豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7 福井 美樹	(H C 名古屋)	52点	(14試合)
8 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8 横嶋 かおる	(北國銀行)	51点	(14試合)
9 今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	8 増田 寛那	(マイフルレッズ)	51点	(13試合)
10 出村 直嗣	(豊田合成)	49点	(12試合)	10 横嶋 彩	(北國銀行)	48点	(14試合)
10 芳仲 将行	(豊田合成)	49点	(12試合)				
10 村山 裕次	(琉球コラソン)	49点	(12試合)				

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 豊田 賢治	(大崎電気)	57点/ 78射 0.731	1 横嶋 かおる	(北國銀行)	51点/ 64射 0.797
2 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点/ 86射 0.674	2 高山 智恵	(マイフルレッズ)	71点/ 93射 0.763
3 信太 弘樹	(大崎電気)	72点/ 117射 0.615	3 田中 美音子	(ソニーセミコンダクタ)	68点/ 109射 0.624
4 出村 直嗣	(豊田合成)	49点/ 81射 0.605	4 藤井 紫緒	(オムロン)	74点/ 131射 0.565
5 高景 淳	(大同特殊鋼)	59点/ 103射 0.573	5 横嶋 彩	(北國銀行)	48点/ 88射 0.545
6 成田 幸平	(湧永製薬)	73点/ 133射 0.549	6 福井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	64点/ 119射 0.538
7 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点/ 122射 0.541	7 宋 海林	(マイフルレッズ)	82点/ 154射 0.532
8 芳仲 将行	(豊田合成)	49点/ 100射 0.490	8 増田 寛那	(マイフルレッズ)	51点/ 115射 0.443
9 今村 彰伸	(豊田合成)	52点/ 114射 0.456	9 原 希美	(バイオレットアイリス)	67点/ 188射 0.356
10 赤塚 孝治	(北陸電力)	58点/ 131射 0.443	10 福井 美樹	(H C 名古屋)	52点/ 156射 0.333
11 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点/ 127射 0.441			
12 村山 裕次	(琉球コラソン)	49点/ 126射 0.389			

7mスロー得点

1 藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	20点	(11試合)	1 河田 知美	(北國銀行)	35点	(14試合)
2 東長濱 秀希	(大崎電気)	17点	(12試合)	2 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	29点	(14試合)
3 野田 祐希	(豊田合成)	15点	(12試合)	3 藤井 紫緒	(オムロン)	25点	(13試合)
4 赤塚 孝治	(北陸電力)	14点	(11試合)	4 原 希美	(バイオレットアイリス)	19点	(14試合)
4 渡部 仁	(トヨタ車体)	14点	(12試合)	5 宋 海林	(マイフルレッズ)	14点	(13試合)
6 平子 卓人	(大同特殊鋼)	11点	(12試合)	6 増田 寛那	(マイフルレッズ)	13点	(13試合)
6 横口 瞳	(湧永製薬)	11点	(13試合)	6 金 恩恵	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	13点	(13試合)
8 水野 裕矢	(琉球コラソン)	9点	(12試合)	8 吉田 起子	(オムロン)	8点	(14試合)
9 野村 喜亮	(大同特殊鋼)	7点	(12試合)	9 池原 綾香	(バイオレットアイリス)	7点	(14試合)
10 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	6点	(11試合)	9 柴田 理紗	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点	(12試合)
10 藤本 純季	(トヨタ車体)	6点	(12試合)	9 細田 英子	(H C 名古屋)	7点	(14試合)

シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人	(トヨタ車体)	173本/ 387射 0.447	1 藤間 かおり	(オムロン)	201本/ 395射 0.509
2 志水 孝行	(湧永製薬)	157本/ 401射 0.392	2 寺田 三友紀	(北國銀行)	197本/ 423射 0.466
3 木村 昌丈	(大崎電気)	78本/ 201射 0.388	3 飛田 季実子	(ソニーセミコンダクタ)	186本/ 426射 0.437
4 川添 将典	(北陸電力)	130本/ 380射 0.342	4 田口 舞	(マイフルレッズ)	142本/ 339射 0.419
5 久保侑生	(大同特殊鋼)	70本/ 208射 0.337	5 毛利 久美	(バイオレットアイリス)	163本/ 394射 0.414
6 藤堂 聖二	(豊田合成)	119本/ 356射 0.334	6 戸塚 純子	(H C 名古屋)	139本/ 448射 0.310
7 関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	143本/ 446射 0.321	7 菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	112本/ 441射 0.254
8 松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	75本/ 248射 0.302			
9 石田 孝一	(琉球コラソン)	75本/ 256射 0.293			

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志	(琉球コラソン)	11本/ 19射 0.579	1 毛利 久美	(バイオレットアイリス)	7本/ 28射 0.250
2 木村 昌丈	(大崎電気)	5本/ 15射 0.333	1 山中 絵里奈	(オムロン)	4本/ 16射 0.250
3 有江 啓	(北陸電力)	5本/ 17射 0.294	3 藤間 かおり	(オムロン)	10本/ 41射 0.244
4 志水 孝行	(湧永製薬)	4本/ 15射 0.267	4 山根 エレナ	(バイオレットアイリス)	5本/ 21射 0.238
5 木下 国大	(トヨタ車体)	5本/ 22射 0.227	5 瀧澤 憲子	(H C 名古屋)	4本/ 17射 0.235
6 藤戸 量介	(豊田合成)	5本/ 23射 0.217	6 菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	8本/ 39射 0.205
7 関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	4本/ 23射 0.174	7 戸塚 純子	(H C 名古屋)	3本/ 16射 0.188

第38回日本ハンドボールリーグ成績表

第18週第2日終了 1月26日

順位	男子	トヨタ車体	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	豊田合成	トヨタ自動車東日本	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差		
1	トヨタ車体		30 ○ 29	30 ○ 25	27 ○ 26	25 ● 26	23 ○ 20	32 ○ 28	19 ○ 14	29 ○ 24	27 △ 27	27 ○ 21	33 ○ 23	33 ○ 21	12 10	1 1	21	335 284	51	
2	大崎電気	29 ● 30		26 ● 28	30 ○ 27	25 ○ 21	33 ○ 28	37 ○ 29	25 ○ 22	34 ○ 21	33 ○ 22	32 ○ 22	36 ○ 24	30 ○ 17	12 10	0 2	20	370 301	69	
3	大同特殊鋼	25 ● 30	26 ○ 27	28 26		21 ○ 19	21 ○ 17	23 △ 23	30 ○ 24	32 ○ 25	30 ○ 22	29 ○ 27	31 ○ 18	31 ○ 16	12 9	1 2	19	330 274	56	
4	湧永製薬	26 ○ 25	20 ● 23	27 ● 30	19 ● 21		34 ○ 22	22 ● 25	30 ● 34	26 ○ 22	30 ○ 28	29 ○ 29	26 ○ 24	23 ○ 19	21 20	13 7	1 5	15	333 322	11
5	琉球コラソン	28 ● 32	14 ● 19	21 25	17 ● 21	23 △ 23	22 ● 34	25 ○ 22		27 ● 23	31 ○ 26	21 ○ 27	25 ○ 18	31 ○ 20	12 5	1 6	11	276 290	-14	
6	トヨタ紡織九州	24 ● 29	28 ● 33	29 ● 37	25 ● 30	34 ● 32	34 ○ 30	25 ○ 22		33 ● 34	26 ● 27	26 ○ 24	34 ○ 24	21 ○ 24	11 4	0 7	8	321 322	-1	
7	豊田合成	27 △ 27	21 ● 25	22 ● 34	22 ● 30	28 ● 26	26 ● 27	26 ● 33	27 ○ 26	34 ○ 27	27 ○ 24	27 ● 33	25 ○ 23	30 ○ 23	12 3	1 8	7	307 341	-34	
8	トヨタ自動車東日本	23 ● 33	32 ● 33	22 ● 32	27 ● 29	29 △ 29	24 ● 26	18 ● 31	26 ● 21	24 ● 41	33 ○ 30	18 ○ 30	32 ○ 22	34 ○ 22	11 2	1 8	5	291 327	-36	
9	北陸電力	21 ● 33	24 ● 36	17 ● 30	18 ● 34	16 ● 31	19 ● 23	20 ● 21	20 ● 25	24 ● 34	23 ● 27	22 ● 32			11 0	0 11	0	224 326	-102	

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッスン	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイス	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差			
1	オムロン		26 △ 26	27 ○ 19	25 ○ 19	24 ○ 23	22 △ 25	25 ○ 12	24 ○ 17	32 ○ 9	31 ○ 19	31 ○ 7	30 ○ 7	35 ○ 16	14 11	2 1	24	370 246	124
2	北國銀行	26 △ 26	19 ● 27	19 ● 25		33 ○ 22	21 ○ 19	21 ○ 19	28 ○ 17	35 ○ 21	28 ○ 14	35 ○ 16	30 ○ 13	30 ○ 10	14 10	1 3	21	375 273	102
3	広島メイプルレッスン	23 ● 24	24 ○	22 ● 33		28 ○ 20	22 ○ 24	24 △ 24	30 ○ 25	28 ○ 14	34 ○ 16	34 ○ 17	32 ○ 14	32 ○ 19	13 10	1 2	21	367 277	90
4	ソニーセミコンダクタ	21 ● 22	25 △ 25	20 ● 21	19 ● 21	22 ● 26	20 ● 27	24 △ 24	30 ○ 20	28 ○ 17	34 ○ 16	34 ○ 16	32 ○ 17	32 ○ 19	14 7	2 5	16	339 272	67
5	三重バイオレットアイス	17 ● 24	12 ● 32	17 ● 28	21 ● 35	21 ● 27	19 ● 28	20 ● 24	28 ○ 25	24 ○ 21	30 ○ 19	34 ○ 19	32 ○ 14	32 ○ 19	14 5	0 9	10	291 329	-38
6	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	21 ● 23	9 ● 31	15 ● 28	16 ● 35	16 ● 29	16 ● 34	16 ● 30	18 ● 28	18 ● 24	14 ● 30	25 ● 24	25 ● 18	30 ● 14	21 ○ 16	21 ○ 11	4	219 360	-141
7	HC名古屋	7 ● 24	16 ● 30	7 ● 32	13 ● 30	10 ● 32	14 ● 28	19 ● 32	8 ● 28	18 ● 25	11 ● 25	20 ● 21	20 ● 21	20 ● 21	14 0	0 14	0	187 391	-204

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。